

令和7年度 西神吉小学校 学校評価

学校教育目標 「自ら学び続け、人や自然を大切にする心豊かな子の育成」
 -自らを見つめ、共に支え合い、より良く伸びる西神吉っ子-

家庭や地域と連携・協力しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体という「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育み、人間性豊かな児童の育成に努めます。

そのために、児童が普段の学校生活や自然体験活動、社会体験活動を通して、自らを見つめ、共に生きる心を育もうとする態度を養うとともに、思考力・判断力・表現力の基礎を培います。

さらに、児童の主體的・協同的学習の充実を図りながら、ねばり強く最後までやりぬく実践「いのちと人権」を大切にする心情や態度を育てます。

重点項目	今年度の成果と課題	自己評価	来年度に向けた改善の方策	関係者評価	
① 確かな学力	<p>○読書活動が充実できており、好きな児童が多い。</p> <p>○多様な子どもへの個別支援で、学ぶ意欲を持たせることができた。</p> <p>○基本の定着を図るとともに、伝える力を高めることができるよう「ことばの力」を伸ばすことに努めた。</p> <p>△思考力や表現力にも課題がある。自主的な学習活動に発展しづらい、家庭学習に課題がある。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティアに頼らない、読書推進の具体的な取り組み。 ・授業や朝の学習時間に、漢字プリントや計算プリントなど全般的な取り組みを行う。 ・「伝えたい」という意欲につながる学習場面の設定。「話す」「聞く」活動を十分に取り入れる。 ・複数の人との関わりを持ち、学習意欲を持たせたい。 ・生活・総合的な学習の時間を活用して学年を超えた取り組み。 	<p>★「わかった、できた」や自らの学びと成長が実感できるよう、引き続き取り組んでほしい。</p> <p>★学力の向上は勿論、さらに学習することが楽しいと思える授業をしてほしい。</p>	A
② 豊かな心	<p>○多様性を認め、偏見差別を生まない人間関係づくりに努めており、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に関係機関と連携しながら取り組んでいるが、保護者の認識に乖離がある。</p> <p>△コミュニケーション能力の育成が重要。自分の気持ちを相手に伝えられるような授業を設定する必要がある。</p> <p>△教師の挨拶に返す児童はある程度いるが、返さない児童や進んで挨拶できない児童がいる。「ありがとう」「ごめんね」が素直に言えるようになってほしい。言葉遣いをもう一度見直す機会が必要。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情を表現する言葉を使えるような取り組み。 ・交流給食や児童集会他、様々な学年と交流できる機会の設定。児童会活動の活性化 ・これまでの取り組みの継続、家庭への協力を呼びかける。 	<p>★挨拶は重要、保護者の協力も得ながら自分から挨拶ができる子を育ててほしい。</p> <p>★学年を超えた活動で挨拶ができたり、思いやりのある言葉がけができる子になってほしい。</p>	B
③ 健やかな体	<p>○ほけんだより、学校だよりなどで啓発されている。</p> <p>○△他の項目に比べてできている。課題は安全面・衛生面にある。</p> <p>○マラソン記録会などを通して、体力はついている。</p> <p>○休み時間に外で遊ぶ児童が多い。</p> <p>△廊下を走る児童、不注意からけがをする児童、トイレの後で手を洗わない児童がいる。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活習慣を身に付ける。 ・ルールの徹底・周知に努める。 ・委員会活動や学級指導等により、児童の安全や衛生に対する意識を高める。 	<p>★体力アップにつながる取り組みができている。</p> <p>★安全・衛生面での指導を継続してほしい。</p>	A
④ 安全、安心な学校	<p>○学校生活適応推進委員会により、生徒指導上の問題行動のある児童だけでなく、困り感のある児童についても情報共有することができた。</p> <p>△登下校時に問題が起こったり、交通ルールが守られていないことがあった。</p> <p>△ネットやゲームの利用時間が守られていない。ほかのきまりも含めてきまりを守るための方法が必要。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続すべきである。 ・一つずつ徹底できるように〇〇強化月間として設定し、委員会だけでなく全校児童が主体的に取り組むことができる行事などが設定できるとよい。 ・登下校の見守りを保護者に依頼。 	<p>★保護者と連携しながら情報リテラシーを高めてほしい。（インターネットトラブル防止講座などは効果的である）</p> <p>★職員全体で児童の情報共有を共有して困難な状況にも対応している。</p>	B
⑤ 開かれた学校	<p>◎ゲストティーチャーを積極的に招くことができた。</p> <p>◎学校だよりやホームページで学校の様子が頻りに発信されている。スクリレの活用。</p> <p>△学校だより・ホームページなどで、学校の様子は共有している。しかし、ホームページや学校だよりが渡っていない家庭もあった。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への発信、協同の更なる充実を図る。 ・スクリレやホームページのさらなる充実。 ・保護者が気軽に学校へきてもらえるような日を設定してもよい。（毎月1回の教育相談日の設定など） 	<p>★学校ボランティア等、地域人材の活躍の場がありよく工夫されている。</p> <p>★各行事で地域・保護者の意見を取り入れながら、工夫された取り組みができている。</p>	A